

戦評

大会名		第42回山形県中学校新人バスケットボール大会 決勝大会		
日時		平成25年11月16日(土) 男子 ・女子 決勝		
会場		山形県体育館		
対戦結果	チーム名 酒田市立第二中学校	45	$\left\{ \begin{array}{l} 8-14 \\ 13-18 \\ 8-22 \\ 16-27 \end{array} \right\}$	81 チーム名 酒田市立鳥海八幡中学校
<p>第1ピリオド、酒田二中はハーフコートマンツーマン、対して鳥海八幡中はオールコートの2-2-1プレスとハーフコートの3-2ゾーンのディフェンスでスタートする。お互いに序盤は攻め手を欠き、ターンオーバーが続く。4分を過ぎたところから鳥海八幡#4のドライブを中心に攻め、得点が動き出す。対して酒田二は相手のゾーンを攻めきれず、ターンオーバーを重ねた。鳥海八幡は攻めのリズムが良くなり、得点を重ねていく。酒田二も#4、#7を中心に攻撃するも相手ディフェンスを崩せず8-14で第1ピリオドを終えた。</p>				
<p>第2ピリオド、鳥海八幡#4のドライブで得点。また、オフェンスリバウンドも制し、ゴール下のシュートを確実に決め、得点差を広げた。たまた酒田二は6分半にタイムアウトを取る。タイムアウト明け、酒田二#6のポストプレーや#7の3Pシュートなどで反撃するが、鳥海八幡のディフェンスを崩せぬまま、ボールを失う場面が続く。16点差がついたところで酒田二は2回目のタイムアウトを取り、反撃するが、21-32で前半を終えた。</p>				
<p>第3ピリオド、後半もお互いのディフェンスは変わらずスタート。酒田二#7、#6はインサイドで頑張りを見せる。対して鳥海八幡#4のドライブを中心にバランスよく攻め、得点していく。鳥海八幡は途中からオールコートマンツーマンにディフェンスを変え、相手にプレッシャーをかけてミスを狙い、速攻につなげ得点を積み重ね29-54で第3ピリオドを終えた。</p>				
<p>第4ピリオド、酒田二はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、相手にプレッシャーをかけ、点差を詰めようとするも、鳥海八幡は冷静に対応し、得点を重ねた。4分を過ぎたところで、酒田二はタイムアウトを取る。酒田二はハーフコートにディフェンスを戻し、ディフェンスのリズムをつかもうとするも流れは変わらず時間が過ぎて、45-81で試合終了。</p>				
記録者	島貴 祐樹 黒沼 昌志			